

## 第6回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 幹事会 議事概要

1 日時：平成30年12月13日（木） 10時00分～11時30分

2 会場：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 1階会議室

### 3 出席者

（委員）

鳥取市 危機管理局長 乾 秀樹

鳥取市 環境下水道部長（代理：環境下水道管理室長） 谷岡 和幸

鳥取市 都市整備部長 綱田 正

鳥取県 危機管理局副局長 國米 洋一

鳥取県 鳥取県県土整備事務所計画調査課長 小田原 聡志

気象庁 鳥取地方气象台防災管理官 杉岡 成彦

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所副所長 片寄 秀樹

（オブザーバー）

八頭町 総務課防災室長 田井 信

### 4 議題

- （1）H30.7月豪雨について
- （2）取組内容のフォローアップ等について
- （3）その他

### 5 議事概要

- （1）H30.7月豪雨について

#### 【鳥取市都市整備部】

- ・河川内の土砂堆積や樹木繁茂について心配している声もある。今後の取組みスケジュール等で決まっているものがあれば教えてほしい。

#### 【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・対策の優先順位を検討し、現在補正予算の申請中である。来年1～2月頃に確定するので、詳細についてはその後に情報提供させていただく。

#### 【鳥取市都市整備部】

- ・危機管理型水位計について、どのあたりに設置されるのか教えてほしい。

#### 【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・危険度の高い箇所に重点的に設置、かつ全体を網羅するように設置予定である。

【鳥取市都市整備部】

- ・ H30.7 豪雨時には、千代川沿川で排水ポンプ車を3台配備していただき、大変助かった。ありがとうございました。

(2) 取組内容のフォローアップ等について

【鳥取地方气象台】

- ・ 防災学習資料について、土砂災害も含めて活用可能な資料になるとより良い。

【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・ 承知した。用瀬小学校の授業の際にも、洪水と土砂災害を含めて、総合的な防災学習を実践していた。

【鳥取県危機管理局】

- ・ 要配慮者支援の話も盛り込むとより良い。

【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・ 参考にさせていただく。子供たちが自発的に考えていくような、分かり易い指導要領が必要と認識している。

【鳥取市総務部危機管理局】

- ・ 多機関連携型タイムラインについて、大いに期待している。H30.7 豪雨時にはホットラインによる技術的なアドバイスがあり大変助かった。
- ・ 平常時から関係機関間の「顔の見える関係」を築いておくことが大切だと思う。

【鳥取県危機管理局】

- ・ 県としても出来ることを支援していきたい。

【鳥取県土整備事務所】

- ・ 県でも模型等を作って、防災学習の出前講座を実施している。
- ・ 排水計画について、国および県の浸水想定結果を網羅するように検討を進めてほしい。

【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・ 承知した。現在、県の公表データを提供してもらって検討中である。

【鳥取市都市整備部】

- ・ タイムラインの外力条件は台風型ということで問題ないか。

【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・ これまでの実績も勘案し、台風型を前提に検討していきたい。関係機関の行動内容等については、前線型等の場合でも活用可能と考えている。

【国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所】

- ・ H30.7 豪雨時において、岡山県の小田川では実績洪水氾濫域とハザードマップがほぼ同等であったが、住民の的確な避難に結びつかなかった。市のハザードマップの住民への周知等に関する取組み状況を教えてほしい。

【鳥取市総務部危機管理局】

- ・来年度新しいハザードマップを全戸配布する予定である。住民に理解して活用してもらうことが重要であるため、自主防災組織を支援する部局を立ち上げて取組強化していく予定である。
- ・昔に比べて、住民の防災意識は高まってきていると感じる。あらゆる機会を活用して、取組みを強化していきたい。

(3) その他

- ・協議会は平成31年1月9日を予定している。

以上